

展示室 1c見慣れない風景

2025年11月5日(水)から2026年3月29日(日)

○印は2026年1月18日(日)まで、●印は2026年1月20日(火)から展示

見慣れた風景も、作品を通してそれまでとは異なる様相を見せます。クリストは、建築やモニュメントを布で包むことで、それまでの景色を一変させます。また、今年で開園30周年を迎える養老天命反転地を構想した荒川修作は、養老の地に日常の知覚を問いなおす特異な空間を作り上げました。本展示では、現実と空想の境目、あるいは非日常の風景をめぐる作品をご紹介します。

作家名	生年-没年		作品名	制作年	技法素材
おかだ てつ 岡田 徹	1914-2007		ふう か うみ 風化する海(B)	1982	油彩、画布
クリスト	1935-2020		こんぼう 梱包されたヴィットリオ・エマヌエレの記念 碑、ミラノ本寺前広場のためのプロジェクト ※前後期で4点ずつ入れ替え	1975	紙、布、紐
あらかわ しゅうさく 荒川 修作	1936-2010	○	ようろうてんめいはんてんち 《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	色鉛筆、色紙
		●	《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	ペン、紙
		○	《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	ペン、トレーシング・ペーパー
		○	《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	紙
		●	《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	コンピュータグラフィックス、紙
		●	《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	ペン、紙
		●	《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	ペン、紙
		○	《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	ペン、紙
		●	《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	ペン、鉛筆、色鉛筆、コンピューター・グラフィックス、紙、トレーシング・ペーパー
		○	《養老天命反転地 オフィス》のためのドローイング	1995-96頃	ペン、鉛筆、色鉛筆、紙
		●	《養老天命反転地 オフィス》のためのドローイング	1995-96頃	ペン、鉛筆、色鉛筆、コピー紙
		●	《養老天命反転地 ふ し もん 不死門》のためのドローイング	1995-96頃	ペン、鉛筆、トレーシング・ペーパー
		○	《養老天命反転地 きょくげん 極限で似るものの家》のためのコンピューター・グラフィックス	1992-94頃	コンピューター・グラフィックス、紙
ひつだ のぶや 櫃田 伸也	1941-		ふうけい だんぺん 風景の断片	1982	油彩、画布
えのくら こうじ 榎倉 康二	1942-1995	○	よちょう なまり かたまり ぐうかん 予兆－鉛の塊・空間へ(1) (P.W.-No.41)	1972(プリント1995)	ゼラチン・シルヴァー・プリント、印画紙
		●	予兆－鉛の塊・空間へ(3) (P.W.-No.43)	1972(プリント1995)	ゼラチン・シルヴァー・プリント、印画紙
パトリック・トザニ	1954-	○	こうそうとし 高層都市	1983	チバクローム・プリント
		●	こうきょうひろば 公共広場	1983	チバクローム・プリント